

the もりおか人 ひと vol.4

国際品評会インターナショナル・ワイン・チャレンジで、県オリジナルの酒米「結の香」を使用した「AKABU 純米大吟醸 結の香」が、最高賞のゴールドメダルを獲得するなど高い評価を受けている赤武酒造株式会社（古舘秀峰代表取締役）を紹介します。



岩手を代表する酒を若い力で

赤武酒造株式会社

東日本大震災で被災し、大槌町から盛岡市北飯岡に拠点を移し約6年。お客さんの声に支えられながら、杜氏の古舘龍之介専務（26歳）を中心に頑張ってきました。品質の高いお酒を作るために、最も大切なことは妥協しないこと。酒の原料であるこうじ菌など微生物は目に見えないので、コントロールするのが大変です。温度や湿度、水分量などをどうするか、香りをかいで、目で見て、データを分析して、じっくり考えながら味を追求します。また、余計な菌が繁殖しないよう衛生面には特に気を遣っています。このような日々の積み重ねが、国際品評会におけるゴールドメダルや県新酒鑑評会で1位など高い評価を受けるお酒の製造につながったのだと思います。

今の若い人たちは、いわゆる酒臭いお酒を嫌う傾向があります。だからこそ、若い人にもおいしく飲んでもらえるお酒を作りたい。イメージは「ピュアできれいなお酒」。わが社の従業員は、25歳～40歳と若め。若い世代ならではの感覚を生かしてほしいですね。そのためには日々のゆとりが大切と考えています。プライベートの時間をきちんと持てるよう職場環境を整え、若者たちの酒造りを支えていきたいです。そして、この盛岡の地で、岩手さらには日本を代表するお酒を作っていけたらと思います。



嗅覚が鋭く、酒蔵の小さな変化にも気付く頼もしい存在の古舘専務

写真deもりおか



8月4日 北上川フェスタ IN MORIOKAを開催

北上川フェスタ IN MORIOKAが、旭橋上流から不来方橋までの北上川や鉾屋町、大慈寺町周辺で開催されました。北上川で盛んだった舟運文化を復活させ、地域の活性化と観光振興につなげようと昨年からはまった同フェスタ。木造船「もりおか丸」の進水式と乗船体験が行われ、参加者は舟の上から眺める盛岡の景色を楽しんでいました。



8月5日 水球エキシビジョンマッチ in盛岡を開催

水球男子のカナダ代表と日本代表のエキシビジョンマッチを開催しました。市立総合プール（本宮五）で行われ、日本代表が13対7で勝利。この試合は、Tokyo2020に向けた市のホストタウン事業の一環として実現したもので、代表同士の迫力ある力と技のぶつかり合いに、観客から惜しみない拍手と声援が送られました。



8月11日 玉山夏まつりを開催

玉山夏まつりを渋民運動公園（川崎字川崎）で開催しました。渋民・好摩の各保育園児のお遊戯や盛岡四高音楽部の合唱、丸太切り大会など多彩なステージイベントに加え、屋台出店や盆踊り、花火の打ち上げなどイベント盛りだくさん。会場は子どもから大人まで多くの人でにぎわい、熱く盛り上がりました。

もりけんに挑戦
(9ページに掲載)の答え
④セキレイ

広報もりおかへのご意見をお待ちしています
アンケート専用フォームから、特集や各記事への意見をお寄せください。あなたの意見が広報もりおかを育てます。



編集後記

今年の夏は猛暑続き。その避暑地としてお勧めなのがプールがある「ゆびあす」です。幼児プールやウォーターライダーもあり、子どもも存分に楽しめますよ。(阿部)



地球環境に配慮し、ベジタブルインキを使用しています。